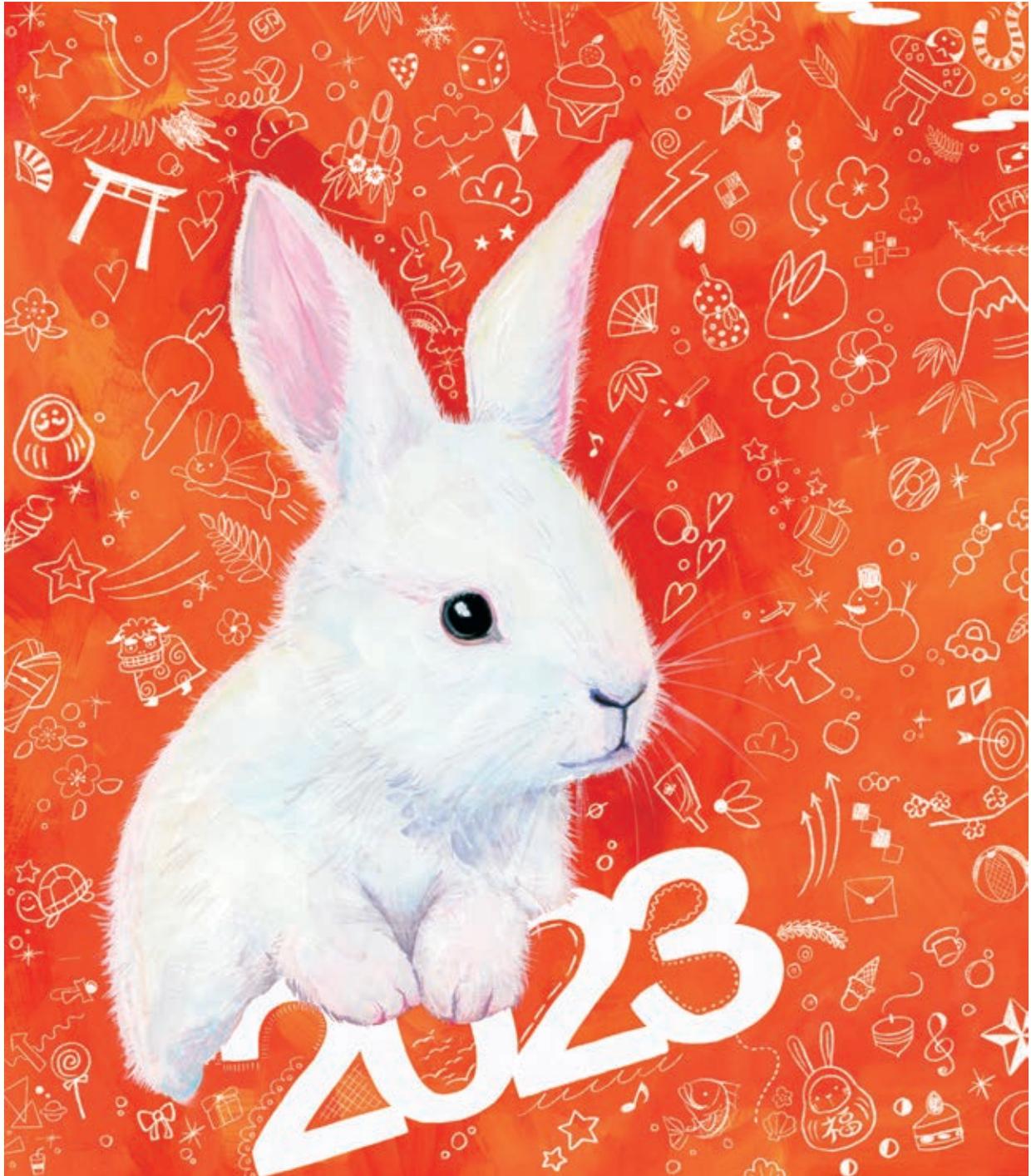


つなぐ

ふるさと宇和島／南予

新春号 
2023 No.21

ご自由にお取りください



特集

津島太鼓集団

雅

みやび

インタビュー 「必ず！紅白歌合戦へ」 歌手 空 大樹

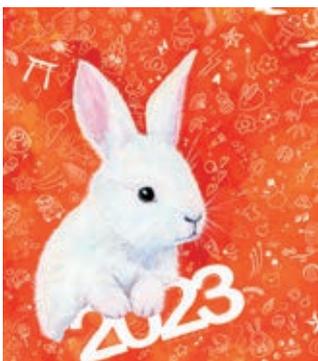
おかげさまで **100**周年
うわしん年

C o n t e n t s



宇和島城登山道 やぶ椿 (撮影/北濱一男)

- 01 エッセイ 私の「目標」と「夢」 石口 孝治
- 02 インタビュー 歌手 空大樹
「必ず! 紅白歌合戦へ」
- 04 特集 津島太鼓集団 雅
- 06 「つしま平安太鼓」と「津島太鼓集団 雅」の誕生物語り
- 08 新生「津島太鼓集団 雅」
- 10 撮り歩きなんよ 冬の花 白木蓮と水仙 写真家 北濱 一男
- 12 **女ちゃんとどつぼの予土線のあの人に会いたい 3**
- 14 いのちのはなし
ゲー チョキ パー 3 「じゃんけん チョキ」 文/毛利弘子
- 15 南予の祭り歳時記 —南方系アジア文化としての闘牛— 愛媛県歴史文化博物館 大木 敬久
南予地方の牛の突きあい習俗 専門学芸員
- 16 **うわしん若手経営塾OB 若だんな 10** 武田建設 代表取締役 武田 悠平
- 17 医療 運動で健康寿命を伸ばそう 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 18 食めぐり 郷土料理「さつま」について 管理栄養士 和田 広美
柑橘ソムリエ シーフードマイスター
- 19 お気楽 俳句 小野 更紗 絵/律川 エレキ おすすめ本/岩崎書店
- 20 つなぐ美術館 ベにばら画廊/アトリエぱれっと
- 21 斗酒百篇 / 4コマ漫画「きさいやくん」



表紙 / 「ようこそウサギさん」
作 / ありま三なこ

プロフィール
1987年生まれ 愛媛県宇和島市出身
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす
現在は個展やイベントへの出品等で活躍中

つなぐ新春号 No.21
〒798-0041 宇和島市本町追手 2-8-21
0895-23-7000
年4回発行 (季刊誌)
配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか
発行 / 宇和島信用金庫
編集・構成 / 業務推進部 広報文化室 川尻純滋
本誌掲載内容の無断転載を禁じます

令和も5年目に入りました。私は昨年3月末で原子力規制庁を定年退職して、4月から伊方町での生活を楽しんでいます。普段は三崎高校の中にある伊方町が運営している塾で数学と物理を教えています。勤務時間が午後1時から9時までなので、午前中は宿舎の近くに畑を借りて野菜を無農薬栽培しています。トマト、ナス、オクラ、シシトウ、トウモロコシ、キャベツ、ハクサイ、ダイコン・・・気が付けば15種類を育てました。毎朝、畑に出るのが日課になり、以前より健康的に過ごせています。採れたて野菜を食べる時は至福の時間です。昨年、新型コロナウイルス感染症が問題で中止になっていた、「大洲市科学体験フェスティバル」と「科学の祭典八幡浜大会」の二つの大きな科学の催しが3年ぶりに再開され私も出展をさせて頂き、子どもたちと一緒に一日を過ごしました。今年も開催されるなら是非とも出展したいと思っています。科学の祭典とほぼ同じ時期の11月8日に皆既月食が観られました。今回の月食は、月が天王星と重なる「天王星食」も起こりました。皆既月食と天王星食が同時に起こるのは、実に442年振り、次に起こるのは322年後とのこと。本当に一期一会の天体ショーです。全国的にとっても良い天気、絶好の観測日和でしたが、いよいよ皆既月食がクライマックスになる、まさにその瞬間に伊方町三崎は月に雲が掛かって、全く観ることができませんでした。実に残念。そんなことを呟いたら、全国の天文仲間がたくさんの写真を送ってくれました。皆既月食の下に写る青白い天王星の



(左) ガリレオのことば (右) 皆既月食と天王星

私の「目標」と「夢」

石口 孝治

写真は肉眼では見ることができないので、貴重な写真です。大切にしたいと思っています。去年の11月と12月の土曜日の午後伊方町の中学生を対象としたプログラミング教室を開催しました。今回は試験的意味合いの開催で、今年4月以降で、本格的なプログラミング教室を開催する計画を進めています。少しでもプログラミングの楽しさを知ってもらい、ここ伊方町から、何か素敵な情報を発信する原動力を作ってお手伝いできたら、この上ない喜びです。こういった試みの結果がでるのは時間がかかると思っています。急がず、焦らず、諦めず、じっくりと構えて進めたいと思います。私自身が今年中にやりたいことは、まず、先ほど書いたプログラミング教室を軌道に乗せること。次に、宇宙講演会を開催すること。これは、以前、宇和島市、大洲市、伊方町で開催した経緯があり、去年12月に宇和島市の小学校でも開催できました。新型コロナウイルスのおかげで全国的にオンライン設備が充実しており、伊方町にいても宇宙講演会は開催できます。情報発信はどこからでもできることを証明したいと思っています。その次は、野菜栽培を拡大させること。これは、一人では限界がありますが、無理のない範囲で畑の栽培面積を広げ栽培する野菜の種類を倍の30種に増やしたいと思います。こればかりは、時間と体力との勝負になることは間違いないでしょうが、自分の健康の維持のためにも、やっています。ずっと以前から、老後は好きな数学や物理を考えながら、宇宙に思いを馳せて、野菜を作って自給自足をする生活をしてみたい



石口 孝治 いしぐち こうじ

1958年 津島町(現宇和島市)生まれ
宇和島東高校卒業
東京大学大学院新領域創成科学研究科修士
元原子力規制庁 上席放射線防災専門官
現在 愛媛県立三崎高校公営塾 講師(数学、物理担当)
趣味: 俳句(いつき組)、料理、家庭菜園

と願っていました。あと、俳句も少しばかり嗜みながら。その実現のための一年にしたい。そんな願いで今、満ち溢れています。よく、「あなたの夢はなんですか?」と聞かれることがあります。広辞苑で「夢」と引いてみると『①睡眠中に持つ幻覚②儚い、頼みがないものた③空想的な願望。迷夢④将来実現したい願い。理想。』と出てきます。こうして文字にしてしまうと「夢」がつまらないものになって、私は好きではありません。私にとって、先ほど書いた三つの願望は、あくまで実現可能な「目標」であり、「夢」ではありません。私は、「目標」と「夢」を、はっきりと区別しています。「目標」は実現をすべく向かっていく方向の終着点であり、「夢」は生涯追い続けるもの。実現しようがしまいが向かっていくべきものと、私は考えています。いつまでも「夢」を持つ自分でいたいと思います。今年が皆様にとって、良い年でありませうように。

「必ず！紅白歌合戦へ」

歌手 << SORA TAIKI 空 大樹

今回、デビュー12年目を迎え、14曲7枚のCDをリリースしている歌手の空大樹さんにお話をうかがった。

子どもの頃から自分で歌ったりすることは少なく、祖父母といっしょに昼食をとりながら「NHKのご自慢」を観るのが日曜日のお昼の楽しみだったという。それによって知らず知らずのうちに歌に馴染んでいったのだろうと振り返る。

小学校時代から不登校気味になるが、中学校ではソフトテニスに没頭した。そして、中学総体終了後に硬式テニスを始める。高校へは進まず、津島町の清流クラブに所属してプロテニスプレイヤーを目指そうと毎日テニスをしていた。

転機が訪れたのは19歳の時、子どもの頃から親んでいた「NHKのご自慢」が新居浜市で開催されるというので応募したところ、本選出場の機会を得た。選んだのは、母への感謝が込められたという「BIG MAN A (Soul Camp)」という曲だ。結果は見事合格。このことで人前で歌う楽しさや喜びを知った空さんは、以降、地元のカラオケ大会に出るようになっていった。

そして、はじめは楽しむ程度だった「歌」が、「大好きな歌を生業にしたい」という思いが徐々に自分のなかで膨らみ、「いつかチャンスを掴み

たい」と考えるようになっていった。

そんな時、後に弟子入りする増田空人さん（以下・師匠）が自身のキャンペーンのため宇和島のあるカラオケ喫茶を訪れると聞いて、その店へ行き、直接「歌手になりたい」という思いをぶつけた。

「その時、師匠からは、『歌は、まだまだ下手くそだけど、いい心もっている。歌手を目指しているんなら一緒に頑張っていこうか』と言ってもらって、歌手への道が開かれることになったんです」

そして、それから約1年半後、デビューシングル「大空へ」がリリースされることになる。

惚れ込んで弟子入りしたものの、周りから「なんで演歌系なの？」と聞かれることも多く、迷いや不安があった。しかし、今は「師匠の曲を歌いたい」という思いで続けてきて良かったと述懐する。

当初は、「早くテレビに出たい」という思いが強かったが、各地を地道に巡る活動を続けている。

師匠からは、
「今後、何十年と歌い続けるためにはテレビに出る事じゃなくて、歌を通じて生きてゆく力をしっかり身に付けること。その為には、自分の足で全国を巡ることが大事」と諭された。空さんの営業スタイルは、まず、飛び込みでお店に客として訪問する。

カラオケ喫茶では珍しい年代なので、すぐに注目され、歌ったら「もしかしたらCD出したら？」という話になり、そこから自己紹介をし、他のお店を紹介してもらったりしながら、今回のキャンペーン活動への足がかりを作っていく。

「今はネット社会ですけど、演歌・歌謡曲の世界は、歌を聴いて頂いて直接人と繋がっていくというスタイルで、僕自身もすごく大事にしている部分です。また、カラオケ喫茶のオーナーさんは大半が自分の親世代の方々に、僕が訪問するとなったら、朝晩の食事を作って頂いたりして、まるで全国に家族が増えていくような感覚なんです」という。

こうして、全国を巡り知名度を上げる活動は、イコール出会いの場でもある。

歌以外に何か取組んでいるものを聞くと、最近、マラソンにハマっているという。週のうち4〜5日、月に200〜250キロメートルほど走る。仕事で各地へ行ったときも、練習は欠かさない。そして、走ることで心が整えられ、心肺機能が鍛えられることによって歌にも好影響があるという。

仕事の都合でまだ大会等へは出場できてないが、「アーティスト、マラソン最速ランナー」の称号を手に入れたいと夢は大きく広がる。当面の

目標は、サブ3（3時間切り）。いずれはサブ2.5（2時間半切り）を達成したいと意気込む。

最後、今後について何うと、
「歌手としての最大の夢は『NHK紅白歌合戦』出場です。出場を引き寄せる為にはヒット曲が必要ですが、それまでは、地道に自分の足で全国を巡る活動を続け、自分の根をしっかりと固めて、その時に備えたいと思っています。そして、僕は小、中学校時代、不登校で両親に迷惑をかけているので、その恩返しをしたいと思っています」と話してくれた。
1月には宇和島でコンサートが開催される。

インタビュー・構成／川尻純滋

一条貫太・中澤卓也・空大樹 スペシャルコンサート

2023年1月28日（土）

12:30 開場 13:00 開演

場所：コスモスホール三間

〈チケット〉 自由席 3,500円 指定席 4,500円

問合せ 080-4038-4041



空 大樹 平成元（1989）年 宇和島市生まれ

最新曲 2021年10/27発売 日本クラウン移籍第一弾『流水物語 / 桜の下で・・・』

ラジオパーソナリティ 76.9MHz FM がいや

空大樹のミュージック☆タイム 第2第4日曜日 午後4時放送※再放送午後8時

趣味 ランニング（目標／アーティスト史上最速マラソンランナー）

ブログ



津島太鼓集団

雅

みやび

和太鼓の波動は、
身体の奥底までも震わせ
時に荒々しく、時に静かに
私たちの心を揺さぶる。。。。

宇和島周辺にも、いくつかの太鼓集団があるが、
今回は、昨年、創立20周年を迎えた
宇和島市津島町を拠点とする「津島太鼓集団 雅」
をご紹介します。

「津島太鼓集団 雅」は、平成14（2002）年に
宇和島市と合併する以前の旧津島町に誕生した。
日本一の樹根太鼓「つしま平安太鼓」と
卓越した演奏技術で聴衆を魅了し続けている。



1



3



2



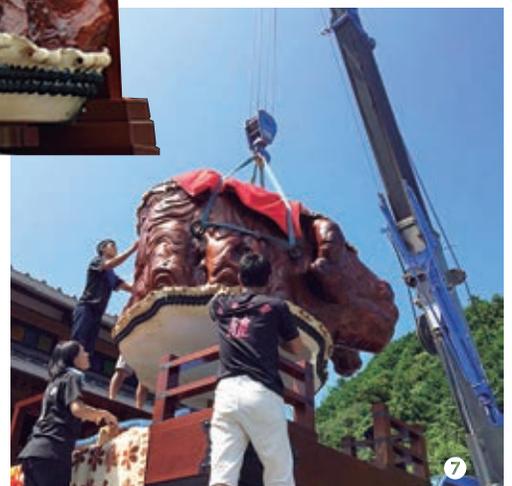
4



5



6



7

- ①⑤ホームグラウンド「津島やすらぎの里」での演奏の様子
- ②練習はいつも熱い
- ③血が出るほどの練習が本番での素晴らしい演奏につながる
- ④平成 29 年 10 月 28 日の愛媛国体の開会式での演奏の様子
- ⑥樹根太鼓としては日本一の大きさを誇る「つしま平安太鼓」
- ⑦「つしま平安太鼓」の搬出にはクレーンが必要。お金と手間がかかる

「つしま平安太鼓」と「津島太鼓集団 雅」の誕生物語り



津島太鼓集団 雅
元会長
田中 繁幸



津島やすらぎの里のオープニングセレモニーで、日本一の樹根太鼓「津島平安太鼓」とともに演奏を披露する雅メンバー



倒壊直後の三島神社の大楠

先ず、創立時のことをよく知る、初代会長の田中繁幸さんにお話を伺った。

事の発端は、旧津島町が宇和島市と合併する以前の平成4（1992）年、北灘鶴之浜の三島神社にあった町の天然記念物に指定されていた、樹齢900年と言われる大楠のご神木が台風で倒壊したことから始まる。

その後、枝や幹は各方面に配られたが、その巨大な根は防腐処理を施し庁舎裏の

公民館に保管されることになった。

そして、20年前、「津島やすらぎの里」が建設されるにあたり、保管されていた樹根を使って何か出来ないか、という話を持ちあがった。当時、宇和島市で伊吹龍心太鼓を主宰し、町内の二つの太鼓チーム（北灘地区の「漁火太鼓」と下灘地区の「権現太鼓」）の発足を手助けしていた藤原泰英さんに相談し、浅野太鼓楽器店（日本一の太鼓専門店）で調べてもらったところ、保管していた根は太鼓にすることは可能で、しかも、完成すれば日本一の樹根太鼓になるということだった。

この話は、当時の曾根貞義町長の元へも伝えられ、「日本一になるのなら」と予算化され、樹根太鼓プロジェクトが本格的に動き出した。そして、次に太鼓が出来るのなら、それを演奏するチームが必要だろうということになり、町内の太鼓関係者が集められた。

「昭和53（1978）年に津島町北灘地区で結成された「漁火太鼓」ですが、当時、青年団が中心で活動していたのですが、子どもたちにも教えようということになって、私が小学校5年生の時に太鼓をやり始めたのが、私と太鼓との出会いです。また、藤原泰英さんとは、私が津島中学



保管していた樹根を太鼓にするための神事が行われた

校在学中にもご縁があつて、一度、講演に来られたことがあつたんです。お話の内容は覚えてないのですが、強面の風貌と乗ってこられたジープが印象的でした。私も地元を出て帰ってきてからも太鼓は続けていたんですが、常々、『津島に大きな太鼓集団が出来たらいいのにな』と思つていたところに樹根太鼓の話が持ち上がったんです。後日開催された説明会では最前列で聴いていたら、藤原さんのお話心振るわされてしまつて、ボロボロと涙を流していたら、藤原さんから『田中君、君がリーダーをやりなさい』と指名され、初代会長をお引き受けしたのが始まりです。それからメンバー募集が始まり25名が集まりました」



新生児の名前が記された祈願書を納める当時の曾根貞義町長

チーム名は、樹齢およそ900年と言われる楠の樹根ということで、平安時代をイメージする「雅」に決まり、「津島太鼓集団 雅（以下・雅）」が誕生した。同時に太鼓も「平安太鼓」と命名され（広く「樹根太鼓」と呼ばれ親しまれているが樹根は太鼓の種類のこと）、完成した太鼓の胴の内側に、その年、町内で産まれた新生児88名の名前が記された祈願書が納められた。

一方、新しく集まった「雅」のメンバーは、お披露目の時に演奏する藤原泰英さん作曲のプロローグを演奏するために漁火太鼓と権現太鼓、それに津島高校の太鼓を借りて練習に励んだ。

そして、平成14（2002）年4月14



津島やすらぎの里のオープニングセレモニーで、あいさつする田中さん

日の津島やすらぎの里のオープニングイベントで日本一の樹根太鼓「津島平安太鼓」と「津島太鼓集団 雅」の演奏が披露された。

「お世話になつた藤原泰英さんは、『雅』が結成されて、7年目にお亡くなりになられてしまったのですが、最後に遺言のようにおっしゃられたのが、『太鼓を仲立ちに人と人との繋がりを大切にしなさい』という言葉でした」

写真提供／田中繁幸

田中 繁幸 たなかしげゆき プロフィール

1968年 宇和島市津島町生まれ ジブラルタル生命保険（株）勤務

津島太鼓集団 雅 元会長（1期～5期 15年間） こども太鼓集団 宇宙（ソラ）代表 宇和島市社会教育副委員長

宇和島市倫理法人会 10代会長

「原点回帰」



津島太鼓集団 雅
代表
寺坂 倅士朗

現在、「津島太鼓集団 雅（以下「雅」）」には、高校生から60代までの約30名のメンバーがいて、その内約20人ほどのメンバーが常時活動をしています。

練習は週2回ほど行っていますが、コロナ禍になってからは、イベントだけでなくメンバーが練習へ参加すること自体とてもシビアになってきました。

コロナ前には、年間50回ほどあった演奏会やイベントは一桁にまで激減し、それまで、当たり前のように太鼓と向き合ってきたメンバーたちは、それぞれ自分にとって「太鼓とは何か?」、「『雅』とは何か?」という大きなテーマを突きつけられているように思います。

代表をお引き受けするにあたり、自分なりにビジョンをもっていたのですが、代表になってからすぐにコロナ禍になり、環境の変化によってメンバーがこのまま練習やイベントに来なくなるのでは、と言う不安から、そうならない為に、どうするべきかと頭を悩ませる3年間でした。今まで、それぞれのメンバーが、家庭や自分の時間、仕事の合間を縫って活動してきましたが、コロナ禍を機に今後10年、20年先を見つめたとき、「自分たちは太鼓（「雅」）とどう向き合っていくべき

なのか」突き付けられているようです。

私なりに20年の歩みを振り返ってみると、最初は、とにかく楽しくて楽しくてしようがなかったのが、徐々に評価も知名度も上がっていく中で、愛媛国体の開会式のような大きなイベントでの演奏では、栄誉や誇りを感じる一方でプレッシャーを感じているのも事実です。

また、私たちには他の太鼓集団にはない、「樹根太鼓を後世に伝える」という、もうひとつの大きな使命があります。残すだけなら保管場所や展示場を用意すれば済むことですが、私たちは演奏することで後世に伝えようとしています。ただ、その使命を必要以上にメンバーに背負わせたくないとも考えています。

それでも、昨年はイベントも増え、年



末には20周年記念の大きな演奏会も開催出来ましたので、自分たちが目指すチームに少し近づいたと思います。



今回の20周年公演（久しぶりの大きな舞台）を終えて思う事は、メンバーがいないと絶対にできなかったし、それぞれのメンバーを助けてくれる家族や職場、地域の人のつながりが、なにより大事だということです。これからは、もっと

地域の学校や保育園などに目を向け「雅」が発足した当初の原点に立ち返りたいと思っています。それと同時に、若いメンバーが少ないので、高校生以上という会則を中学生以上に変えることを検討しています、中学から高校の6年をかけて「太鼓が上手になる」というよりも「地域（宇和島や津島）に対する思い」を醸成する場になりたいと思っています。

チームには様々な年齢や職種の人がいるので、太鼓を通じて社会性や人としてのありようなど、様々なことを伝え吸収する場になってほしいと思います。こうすることで、私たちの活動が間違いなく地域の為になると確信しています。



TSUSHIMA.MIYABI

寺坂 倅士朗 てらさか こうしろう プロフィール
1991年 宇和島市津島町生まれ 魚類養殖 津島太鼓集団 雅 代表

撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



2021年2月27日撮影

冬の花 はくもくれん すいせん 白木蓮と水仙

上の写真は、伊達博物館の駐車場入り口横に咲く早春の白木蓮の花です。毎年撮影に行っていますが花の命は短くて、数日で花びらが茶色くなります。

白木蓮は花が開く前、尖った蕾の先端が揃って一方向に向きます。それは良く陽が当たるよう北に向いているのだそうです。

伊達博物館は移転して建て替えられるそうなので、この白木蓮は撮れなくなるかもしれません。

ここには※松根東洋城の詠んだ「我が祖先ハ奥能最上や天の川」の句碑があります。

※松根東洋城は幕末の宇和島藩家老松根図書の子孫



冬の寒さに耐えて咲く水仙の花は、いろんな所で見ることが出来ますが、この写真は12月下旬になると三間の中山池の基幹集落センター裏の土手に咲く水仙です。

2019年12月23日撮影



北濱 一男 写真家

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめが、本格的な写真歴は約20年。現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。「撮り歩きなんよ」(ブログ) <http://uwatu.blog135.fc2.com/>

宇和島信用金庫

2024年版カレンダー用作品公募展

宇和島信用金庫では2024年版カレンダーに使用する作品を募集し、公募展を開催いたします。

●テーマは自由

宇和島に唯一本店のある金融機関のカレンダーに相応しい作品。

※出展歴のある作品も可

※採用作品はサイズによってトリミングさせていただきます。



2023年版カレンダー

●応募締切及び作品搬入 7/22(土)

※郵送の場合は7/21必着

○信金賞1点…宇和島信用金庫カレンダービジュアルに使用副賞(50,000円分の商品券贈呈)

○市民賞1点…公募展期間中の来場者投票で最多得票作品副賞(30,000円分の商品券贈呈)

○佳作2点…応募作品の中から特に優秀な作品

お問合せ/アトリエぱれっと

宇和島市伊吹町字イカリ石甲1083番地1-2F

☎090-7784-4703

手記 ちいさな道標

平成30年7月豪雨 浄水場喪失からのドキュメント

平成30年7月豪雨で長期断水に陥った宇和島市。災害という負の変化で、当たり前前の日常が突然奪われた時、応急対応の最前線は何を「見て・聞いて・言って・感じて・動いて」いたのか。

ふたたび命の水を届けるべく、日本中の関係者が一丸となって奮闘したドキュメント。

新聞連載時に反響を巻き起こした元宇和島市水道局長の手記がついに書籍化!



著者 石丸 孔士
発行 水道産業新聞社
A5判 254頁
定価 1,980円(税込)

販売店/岩崎書店

宇和島市錦町4-16 ☎0985-22-0528

超一流の妙技と極上のアンサンブル

Duo Hayashihi デュオハヤシ リサイタル



チェロ / 林 俊昭

ピアノ / 林 由香子

2023年4月9日(日)

13:30 開場 14:00 開演

会場：パフィオうわじま
1階ホール

チケット：2,000円(一般)
1,000円(高校生以下)

※全席自由席 ※当日券は500円増

※未就学児童の入場はできません

チケット販売所：パフィオうわじま1階受付

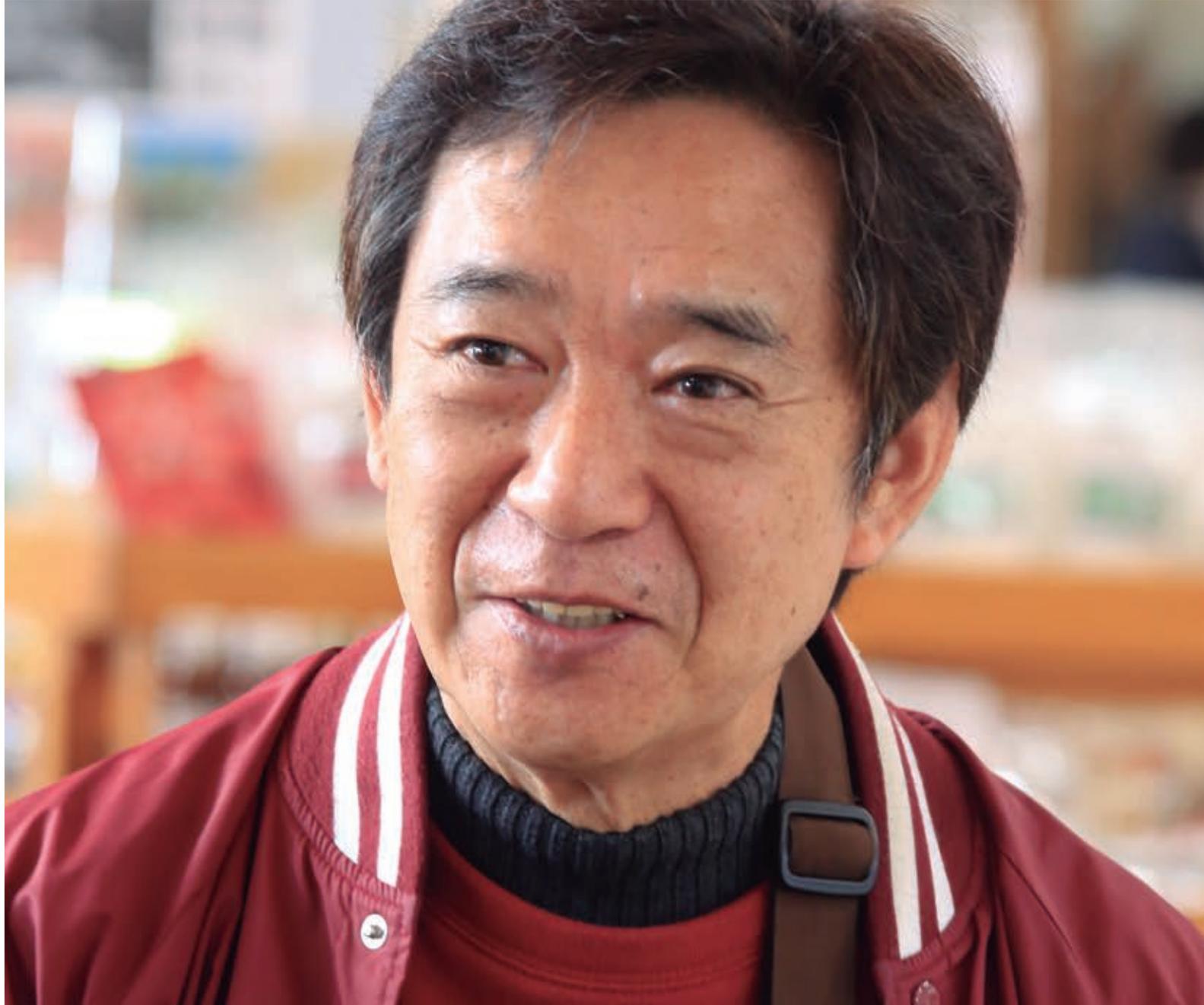
お問合せ：0895-49-5922

主催：宇和島市生涯学習センター

読者プレゼント
抽選でペア券2組様

《応募方法》ハガキに住所、氏名、連絡先、年齢、性別、本誌へのご意見ご感想をご記入の上、下記へお送り下さい。抽選で2組にペア券をプレゼントさせていただきます。

〒798-0041 愛媛県宇和島市本町追手2-8-21 宇和島信用金庫 業務推進部 広報文化室 締め切り：3月10日



文ちゃんとどつぼの 予土線のあの人に会いたい3

道の駅 広見森の三角ぼうし駅長
まつ もと しゅうさく
松本周作さん



文/山下文子 写真/坪内政美



イメージです。



春の思い出と予土線がリンクしているのだ。
淡い恋心を抱いた青
の先輩がバイトしよつ
たんよね」と松本さ
んの目尻が下がる。
して、そこに、あこがれ
うのは贅沢やったわけよ。そ
たけん、ナポリタンを食べるとい
普段は2000円のラーメンでおさめよつ



最寄駅は「出目駅」

「予土線っていうと、胸キュンな思い出しかないなあ。「え？ なんですか」と思わず聞き返してしまった。小中高と学生時代を鬼北町で過ごしたという松本周作さん（58歳）。予土線と胸キュン、そこにどんなエピソードがあるのか聞いてみた。

「俺たちの世代は、中学生になって初めて予土線に乗るっていう感じやったな。小学生の時は自転車が一番の移動手段で、中学生になって、ようやく宇和島という所に汽車で繰り出せるようになった。エース模型店とか、『よし、みんなで行くか！』と制服を着て仲間と宇和島に行くんやけど、それが新しい冒険の始まりのようだね」と懐かしそうに話し始めた。
「高校生になると、新たなステーションが待っていて。今のクレメントホテルのところにステーションショップがあったんよね。その2階のレストランのナポリタンがめちゃくちゃ美味しかったのよ。はつきり覚えてないけど、当時、近永駅と宇和島駅の往復の汽車賃が250円くらい。ナポリタンが350円くらいやったから、



森の三角ぼうしの店内で談笑する松本さんと文ちゃん

「予土線、いうのは、キュンキュン、ワクワク、ドキドキの乗り物やったんよ」と。その感覚は、大人になった今でも予土線に感じているという。松本さんは、道の駅の懇親会や友人との飲み会などで予土線に乗って江川崎まで行く。会に参加するメンバーを誘って、みんなで予土線に乗って行くのだ。

「江川崎には、魅力的な飲食店が多いのよ。中華料理の『台北』へ行くときなんかはね、『新幹線に乗って台北に行こうや』とあって誘うんやけど、一瞬「お？」ってなるんよ。20時台の江川崎発の最終列車は、あの『なんちゃって新幹線』こと鉄道ホビートレインやんか。『終電の新幹線で帰ろうや、電車やないけど』みたいな感じで、なんとというか大人の修学旅行のような・・・」。

かくいう私も、松本さんたちといっしょに予土線に乗って、この台北へ行って終電の新幹線で帰ったことがある。食事が美味しかったのは、もちろん、行きと帰りの列車の旅が楽しくてたまらないのである。食事の時間が始まる前のワクワク感と、終わった後の余韻が車内で味わえるのだ。通勤通学で予土線を使うのはまったく別の感覚で楽しいのだ。

「JRの経営状況も厳しくて、通勤や通学に欠かせない人は間違いなくおるんやけど、車で移動できる距離でも予土線に乗ってワイワイ仲間と一緒に移動するのが、なんか楽しいんよ。存続していく上で、地元の人が楽しんで使っていることも新たなコンテンツとしてあっても良いかなと思うんよ」と話す。

「車の今、わざわざ予土線に乗らなくても、という考えもあるだろう。だからといって地元の人に乗らなければ、観光路線としてのみでは、存続は難しい、というのが現実ではないか。ダイヤ改正のたびに、運行本数が減ってしまうのは切なくてたまらない。それで、ますます利用客が減ってしまっっては悪循環だ。せめて利用客のニーズも、ちょっぴり聞いてほしい・・・と思うのは、私だけではないはずだ。」

「言う言えは、8年くらい前にも胸キュンしたことがあったな。江川崎で忘年会して予土線に乗ったのよ。暖房がきいて暖かくってね。でも乗客は俺一人。寂しいなと思ってたら、運転士がやたら警笛を鳴らす。で、列車は停止。どうした

んかなと思つてたら、運転士がね『鹿です』って。鹿よ、鹿。かわいいうると思つて。あの頃は最終列車が21時台やっただけか、最近は何つきり連

わんけど、2回連続で鹿に遭遇したのよ。そんな鹿との出会いもね、キュンキュンするのよね(笑)」。と胸キュン青春まっ只中といった表情で話してくれた。

「予土線で行って、予土線で帰る」。日常にふと、ドキドキワクワクの時間を与えてくれるこの提案は、なにもそんなに遠くに行かなくて地元の鉄道を使うというシンプルさがいいと思う。

駅からちょっぴり歩いてみたり、時には寝過でしまつたり、暗闇の車窓に野生動物がいたり、胸キュンとの出会いの可能性は、まだまだありそう。



二人が見つめる先には何が見えるのだろう



山下 文子 やました あやこ

宇和島市出身、鬼北町育ち。予土線沿線は、県をまたぐも「ザ・生活圈」。鉄道を始め、乗り物は何でも大好き。座右の銘は「その角を曲がれば、旅」(※永六輔氏のうけうり)。「四万十の鉄道 予土線」のホームページでコラムを担当。



坪内 政美 つぼうち まさみ

スーツ姿で撮影するという奇妙なこだわりをもつ鉄道カメラマン・ロケコーディネーター。各種鉄道雑誌などを執筆する傍ら、テレビ・ラジオにも多数出演。町おこし列車「どつぽ列車」を主宰し、駅スタンプを製作・寄贈する活動を行っている。高知県予土線利用促進対策協議会アドバイザー。

協力：高知県予土線利用促進対策協議会 <http://yodosen-green.com/>

<https://twitter.com/yodosen> <https://www.facebook.com/yodosen/>

お詫びと訂正

前号でご紹介した株式会社山間屋会長の中脇裕美さんのお名前の読み仮名は、正しくは「ゆみ」とお呼びします。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

いのちのはなし グーチョキパー 3



「じゃんけん チョキ」 文 / 毛利弘子

「チョキはね ピースのかたち ふたつあわせるとピースピース しゃしんをとるときもピース ピースってへいわっていいみなんだ しろくまのなまえもピース えがおっていいね みんながえがおでいるとまわりもえがお みんながえがおでいられるように みんながなかよしでいられるように いつもチョキのピースができたらいいいね」

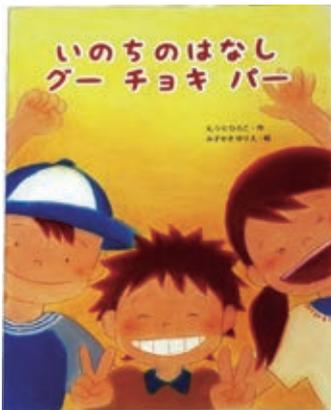
去年は、いつも笑顔でいられたかな、みんなが平和に安全に暮らせたかなと考えました。3年目を迎えたコロナウイルス感染症の流行も収まらず、世界では戦争や飢餓で苦しんでいる人達もいっぱいいます。

暑い夏には、大人の不注意で幼い子どもたちがなくなる事故がありました。お腹の中で一生懸命自分の命を守って、やっと産まれてきた赤ちゃんが、数年しか生きられなかったのです。「守ってやれなくてごめんなさい」と、思ったのは、私だけではないと思います。子どもは小さくて、弱いものなのです。そんな子どもを守るのは、大人の役目だと思います。

子どもたちが、自分の持っている力や可能性を存分に發揮して、命を輝かせて生きていってほしいと思います。だって、どの子も特別な存在ですから、宇和島の日本のいや、世界の未来ですから、みんなで大切にしなくてははいけません。

今、宇和島の小・中学校では、「こころまじわうプロジェクト」で、「自分のところからだの主人公になる」をテーマにからだの学習・人間関係づくりについて、子どもたちと教師が一丸となって真剣な学びを進めています。「みんな違っていいんだよ、一人ひとりの違いを認め合おうよ」そんなことを子どもたちは助産師などの外部講師も参加して日々学んでいます。学びを通して、みんなが自分のことを大好きになって、自分のからだのところを守る力に身をつけていってほしいと願っています。

さあ、私たち大人も負けてはいられませんよ。この学びを応援して、子どもが困った時、辛い時に力になれる大人でいたいですね。出来ることは、まず、大人が今日まで生きてきた日々を誇りに思い、自分を大切にしながら、せいっぱい生きていくことだと思えます。なんてったって「今が一番若い」、過去を振りむいても夢はありません。背筋を伸ばして、笑顔で明日を向いて生きていきましょう。大丈夫です、くじけそうなときは、周りの人が手を貸してくれそうですから。そんな大人の生き方を、後ろ姿を、子どもたちはしっかり見えています。



もうりひろこ(著)みずせきゆりえ(絵)
価格 1,572円(税込)



毛利 弘子プロフィール

1952年生まれ 公立小中学校養護教諭を40年経験後 2012年定年退職
ライフワークの性教育の講演や全国大会での研究発表多数

- 受章 / 平成24年愛媛県学校保健功労賞 令和3年文部科学大臣学校保健功労賞
- 執筆 / 「いのちのはなしグーチョキパー」(エイデル研究所出版)
- その他 / ・和霊公民館運営審議委員・更生保護女性会副会長
・退職公務員連盟中央分会副会長・和霊小学校読み聞かせボランティア
・カサヨハネ(知的障害児)放課後デイサービス非常勤講師ほか
- 趣味 / 陶芸・登山・写真・絵手紙・歩き遍路・シーボーンアート

南予の祭り歳時記

— 南方系アジア文化としての闘牛 —

南予地方の牛の突きあい習俗



牛の激しいぶつかり合いは闘牛の醍醐味（宇和島市宮闘牛場）

撮影／北濱一男

愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

おおもとたかひさ
大本敬久



1971年、八幡浜市生まれ
専門は民俗学・日本文化論著書に『民俗の知恵』（創風社出版）等

闘牛には「牛対人」と「牛対牛」の2種類の形式がある。日本の闘牛は「牛対牛」であり、世界的に見ると「牛対牛」の闘牛は東南アジア、東アジアの水稲耕作文化圏にまとまって分布し、「牛対人」はスペインなどヨーロッパの麦作文化圏に広く見られる。

闘牛は日本では沖縄県、鹿児島徳之島、愛媛県南予地方、島根県隠岐島、新潟県などで行われているが、東アジア、東南アジアに繋がる黒潮・対馬暖流に沿った地域が主となっている。

日本における闘牛の初見は、平安時代末期成立の『鳥獣戯画』^{チヨウゾクキョウガ}ともいわれている。しかし、これは不意に牛が角突きを始めた場面の描写であり、現在の日本各地の闘牛とは直接関係しない。牛は自然に角を突きあわせる行動をとるので、この自然行為をもって「闘牛文化」ということはできない。日本の闘牛文化の特徴は、相撲文化の影響を強く受けていることが挙げられ、横綱・大関などの番付や、闘牛場を「土俵」と呼ぶことなど、闘牛を相撲に見立てている。相撲に見立て、人が決まった時間に決められたルールのもとで競技する。これが日本の闘牛文化の始原といえる。

日本の闘牛が史料上で明確に現れるのは江戸時代中期以降である。南予地方の「突

きあい」は安政3（1856）年に野村組の庄屋文書（現西予市）に見えるのが初見であり、明治時代に入ると愛媛県の行政文書に数多く闘牛関係史料が現れ、闘牛を禁止する旨を伝えたものが多い。大正と昭和初期にかけては、賭博や喧嘩が問題化し、再び禁止されたが、昭和4（1929）年には闘牛は解禁され、宇和島周辺の牛主を中心に「南予牛角力協会」が設立されている。

戦後、昭和23（1948）年にはGHQによって闘牛は禁止されたものの、宇和島地方では、昭和34（1959）年に「南予闘牛振興会」を、南宇和地方では昭和36（1961）年に「南宇和郡闘牛組合」が相次いで結成され、定期的な闘牛大会が開催されるようになった。昭和50（1975）年に宇和島市宮闘牛場が落成し、現在にいたるまで闘牛大会が定期的に行われている。南予の闘牛は文化庁より「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、平成11～12年度に愛媛県教育委員会が調査を実施し、報告書『南予地方の牛の突きあい習俗調査報告書』が刊行された。これまで闘牛は観光資源として注目されてきた側面が強いが、文化財としての視点でも注目し、後世へ継承する環境を模索、整備することも重要といえる。

武田建設株式会社 代表取締役 武田悠平

「ご縁をいただいた仕事に誠心誠意向き合う」



「武田建設株式会社」、2代目武田悠平です。弊社は、平成2年9月に創業し、今年で創業33年目を迎えました。主な仕事は新築住宅の建築や他建設会社様や一般のお客様から依頼された住宅基礎工事、造成工事、外構工事などを行っております。創業から今日まで営業させて頂いているのも、親切丁寧で、そして責任感をもって仕事をする前社長である父のもと従業員一丸となって仕事に務め、ひたむきに努力を重ねてきたからだと思います。私は工業大学卒業後、松山の建設会社で営業や施工管理の仕事をしていました。その後、武田建設の従業員の高齢化に伴い、働き手が足りなくなっているということもあり、地元である宇和島に戻ってきました。

戻ろうと思ったきっかけの一つに、大学在学中に始めた居酒屋のアルバイトでの経験があります。それは、接し方や聞き方一つで相手のニーズや伝えたいことを引き出すことができると分かったことと、自分は人と関わることが好きだということに気づくことができました。この学生時代に学んだ建築の知識や、人との接し方を活かしつつ宇和島で人脈をつくり、父と一緒に仕事をしたいと思いました。

建設業界を取り巻く環境の中で最も課題となっているのは慢性的な人手不足です。特に深刻なのは、専門的な知識と技術を持った技術者の不足です。これは、地方都市では更に重大な課題となっており、弊社も技術者や人材の確保が急務となっております。建設業は、3K(きつい、きかない、危険)といったマイナスイメージがありますが、弊社は長期的な視野を持ち、技術革新に努め、働き方改革を少しずつではありますが、お客様に満足していただくためのサービスを提供や、時代のニーズの変化に柔軟に対応できる体制を整えます。常にお客様の立場に立って仕事を全うし、信頼関係を築くことで得られる多



くの「ご縁」によりいただいた仕事に誠心誠意向き合うことが、この課題解決の糸口になると思っております。最後に、私は自分を育ててくれた宇和島に恩返しという意味でも、これから宇和島のためには何かできることはないか、そして何か力になりたいと思っています。まずは、自分の仕事のモチベーションである大切な家族を笑顔にすること。そして、これからの宇和島を担っていく子どもたちのために一助となる存在になりたいと考えています。親切、丁寧な仕事によって繋がる「ご縁」で、更に魅力あるまちづくりに貢献出来たらと思っています。



武田建設 株式会社

宇和島市 別当 1 丁目 1-15 TEL 0895-24-2827

うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。

運動で健康寿命を伸ばそう



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

新型コロナウイルスの感染拡大により外出の機会が減り、運動不足による体力低下・体重増加（コロナ太り）を自覚している方も多い

と思います。運動不足やストレスから心身に悪影響をきたす「健康二次被害」が生じることがあります。特に高齢者は運動不足による筋量・筋力の低下に伴い基礎疾患の悪化や認知機能の低下も懸念されます。

日本における成人死亡の主要な決定因子は、①喫煙 ②高血圧 ③運動不足であり、運動不足が原因による死亡は年間約5万人と推定されています。

WHO（世界保健機関）の運動ガイドラインによると、成人では1週間に150分以上のウォーキングなどの中強度の運動、あるいは75分の活発な運動を行うことを推奨しています。

台湾の研究では、1日15分の軽い運動だけで死亡率のリスクを少なくとも14%減少させ、全く運動しない場合よりも3年寿命が延びること、また1日最大100分までは運動時間が15分増えるごとに死因に関係なく死亡率リスクが4%ずつ低くなり、1日30分

の運動を行った場合平均寿命は約4年長くなったと報告されています。

大分県は平成22年の平均寿命と健康寿命の差が男性はワースト1位、女性もワースト3位でした。そのため官民一体となって食事（減塩、野菜や果物の摂取）や運動の改善に取り組み、令和3年の健康寿命は男性が1位、女性も4位と飛躍的に改善しました。

運動の改善のため大分県が導入したのが歩数や検診でポイントが貯まる健康アプリです。宇和島市も公式アプリ「伊達なうわじま安心ナビ」の「うわじま歩ポ」で同じような取り組みを行っており、ポイントでクーポンやお買い物金券と交換できますのでぜひ活用して下さい。

運動は気分の向上、心肺機能の増進、筋肉の増強、加齢に伴う衰えの防止など、数々の効果があります。有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせ運動を日常的に行うことが良い結果をもたらします。自分に合った運動のアドバイスが必要な方は、トレーニングジムを利用するのが良いです。

よう。高齢者や障害のある方にも対応できるジムもありますので、相談してみてください。

昨年発表された国立高度専門医療研究センター6機関の連携による「疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言」では、身体活動について、次のように述べています。

「日頃から活発な身体活動を心がけ、現状より1日10分でも多く体を動かすことから始める。具体的な身体活動量の目安は、歩行または、それと同等以上の強度の身体活動を1日60分行い、その中に息がはずみ汗をかく程度の運動が1週間に60分程度含まれるとなおよい。また、高齢者では強度を問わず、身体活動を毎日40分行う」

運動による死亡率の減少は、過去の運動習慣に関係なく認められるため高齢の方でも運動を始めるに遅すぎることはありません。運動をする習慣のない運動不足の方でも、1日10分程度のウォーキングで良いので、とにかく運動を始めましょう。



宇和島に古くから伝わる

郷土料理といえば、ふくめん、鯛そ
うめん（鯛めん）、丸寿司、さつまなどが
あります。その中で私にとって一番身近
な料理が「さつま」で、子どものころか
らずっと食べ馴染んできたことがその理
由に挙げられます。

「さつま」を作るのも、よく手伝ってい
ました。すり鉢に入れた焼き魚の身を兄
妹で順番にすりこ木ですり混ぜ、手がし
んどくなるとすぐに止めてしまう私たち
に「もう少し、もう少し」と励ます母：
そんな風景が今も思い出されます。手の
ひらほどの魚が二匹ほどあれば、家族み
んながお腹いっぱい食べられる経済的で
おいしい「さつま」は、今でも我が家の
定番人気料理です。

郷土料理としての「さつま」について
少しご紹介しましょう。昔から、愛媛県
下の全域で作られていたといわれており、
南予では、お客をもてなす鉢盛料理の締
め料理としても重宝されたといわれます。
「さつま」という名称は、

- ・薩摩の国から伝わったから
- ・夫が妻を手伝って（補佐して）作ったから（佐妻）

・染みやすいようご飯に十字の切り目を
つけて盛り付けたのが、薩摩藩島津家の
家紋に似ていたからなど、諸説あります。

「さつま」の材料となる魚は脂の少ない
白身魚がよいとされ、タイ、カマス、タ
チウオ、コズナ、エソなどが主に使われ
ますが、青背魚のアジでもおいしく作る
ことができます。魚が手に入りにくい山
間部等では、干したイワシをすり潰して
作る「いりこさつま（冷や汁）」が伝わっ
ている地域もあるようです。

ふくめんや鯛そうめんと比べると、見
た目が今ひとつパットとしない地味な
「さつま」ですが、昭和28年国民体育大
会で天皇陛下が御来県された際、大変お
気に召されてお替りをされたというエビ
ソードも残っているほどおいしい料理で
す。これからも未永く伝承されていくよ
う、ぜひ若い人にも作っていただきたい
と感じています。

今回は、そんな思いを込めて少しドレ
スアップした「彩さつま」をご紹介しま
す。薬味は、「さつま」をさらにおいしく
するキーワードです。色々なトッピング
を添えて、色彩、味の変化、食感をさら
にお楽しみください。野菜類等を加える
ことにより、栄養価も充実します。

すり鉢がご家庭にない場合は、フード
プロセッサーで擦り混ぜるとより簡単に
作れます。手抜きしても間違いなくおい
しく仕上がるのが、「さつま」の良さでも
あります。

彩（いろどり）さつま

（材料）4人分

ごはん（麦ごはん）	・ ・	茶碗 4杯
鯛	・ ・ ・ ・ ・	正味 200g
麦味噌	・ ・ ・ ・ ・	50g
砂糖	・ ・ ・ ・ ・	ふたつまみ
塩	・ ・ ・ ・ ・	ひとつまみ
だし汁	・ ・ ・ ・ ・	200ml

（作り方）

- ①鯛は、焼いてから身をとる。（皮や骨を除く）
- ②鍋に①で除いた鯛の骨と皮を入れ、水 400ml を加えて沸かす。ひと煮立ちしたら火を止めて、冷ましておく。（だし汁）
- ③すり鉢に①の魚の身を入れ、すりこ木でよく擦り混ぜる。形が残らないくらい擦ったら、味噌も加えてさらによく擦り混ぜる。なめらかになったらだし汁を少しずつ加え、擦りのばしていく。
- ④砂糖と塩少々で味を調える。

（薬味・トッピング）

- ・ねぎの小口切り
- ・細切りこんにゃく
（こんにゃくを細切りにしてゆでる。
糸こんにゃくでも可）
- ・みかんの皮のみじん切り
（皮の裏の白い部分はそぎ除き、オレ
ンジ色の部分だけ使用。柚子でも可）
- ・錦糸たまご
- ・きゅうりの細切り
- ・みょうがのうす切り
- ・紅生姜

※この他、大葉、三つ葉などの香味野菜、
漬物のみじん切り、擦ったごまやピーナ
ッツなどもおすすめです。



和田 広美

管理栄養士
柑橘ソムリエ
シーフードマイスター
愛媛大学地域再生マネージャー

お気楽 俳句

小さな俳人の成長を見守るのもまた楽しいことです。幸の実ちゃんは小学二年生のときに愛媛に引っ越してきて俳句と出会いました。今は長野で中学生。俳句甲子園に出るのが夢だそうです。句集『風の色』『六年目のランドセル』は小学四〜六年生の頃の作品です。磨湧ちゃんは小さいときから宇和島の「じゃこ天国会」で大人に交じって勉強。大学を卒業し社会人となって関西で暮らす今も俳句が大好きです。句集『莓ミルク』は中学二年生の頃の作品です。（小野更紗）

★幸の実ちゃんの句

わたあめに花火の赤のじみけり
うんていは悲しい句いふじばかま

以上『風の色』より

白あんのほろりととけて春夕焼

薄青をしずかにすすむ平泳ぎ

さみしさをさけんで投げて夏の海

髪少し伸びた先生九月来る

冬青空冷凍保存したい朝

寒月や結局精神論ですか

以上『六年目のランドセル』より

〈最近の一句〉

新蕎麦は硬め行書のおしながき

★磨湧ちゃんの句

目は嘘をつけないくせにしゃぼん玉

永遠を一瞬捕まえた蛙

莓ミルク混ぜ今日もなぜか無口

夏の星黙って絵の具ぶちまける

日盛りの電車が揺れて次の街

柿落ち葉今日も右半分の君

風花やこの世は不完全まみれ

偶然は口実であり冬薔薇

以上『莓ミルク』より

〈最近の一句〉
丁寧な生き方春の別れ方

*色文字が季語です



*ぞえる：ふざける かやす：ひっくり返す

女正月

元日を男正月というのに対して、1月15日の小正月を女正月という。正月忙しかった女たちが、この日ようやく正月気分にあたりたいという。

絵：律川エレキ
1966年宇和島市生まれ
奈良市在住
2000年頃より俳句新聞や俳句マガジン等に挿絵を描く。映像作家

おすすめの本

の Junaida 著 福音館書店 刊 ¥2,200 (税込)

友人がすてきな絵本を教えてくれた。

「の」「怪物園」「街どろぼう」「Michi」etc、etc

著者は“Junaida”さん（本名アイダジュン 日本人の画家）

鮮やかな色彩の中に明るさと暗さが混在し、細かく繊細に描かれた幻想的な絵。異国を思わせる不思議な世界に引き込まれていく。

不思議な「の」が導くのは、時間と空間をつなぐ終わらない旅。

2022年10月～2023年1月に大規模な個展（原画展）がPLAY! MUSEUM（東京都立川市）で開催された。2024年からは関西でも個展の予定があるようで楽しみだ。



「Michi」



「怪物園」

協力：岩崎書店 宇和島市錦町 4-16 TEL. 0895-22-0528



■アトリエ堀端絵画教室 (べにばら画廊) <https://benibara.webhop.info/>
 宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント: 吉田 淳治



作品名:『反映』(油彩)
 作者: 田中龍一 (大人クラス)
 色の重なりが造形美を生んでゆく。
 知と感覚を合わせ持つ田中君。
 絶え間なく探ろうとするひたむきな眼。
 行きつくあてもない場所に向かう。
 未知を掴まえようと、一筆一筆に込めながら。



作品名:『くり』(水彩・クレパス)
 作者: 刈谷藍 (子どもクラス)
 四万十川のそばで暮らすあお君、5歳。
 近くで拾ったクリを並べて描いた。
 加えて、黒尊渓谷で見た赤い葉も。
 自然には楽しいものがあふれてる。
 ジャーン! 僕はクリの王様になったよ。



作品名:『カートゥーンキャット』
 (水彩・クレパス)
 作者: 堀内千颯 (子どもクラス)
 ゲームのキャラクター、黒ねこモンスター。
 ちはや君の手になると大きく変貌。
 デザインとは違う個の絵になった。
 2年生、ひとりバスに乗り毎週通う。
 これからもいっぱい絵を描いてほしいな。



■アトリエぱれっと 書 sho salon <https://art-palette.wixsite.com/>
 宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-4332-1222 shosalon@yahoo.co.jp コメント: 山下ちとせ



作品名:『神様のおくりもの』(絵てがみ)
 作者: 毛利弘子
 施設の玄関に飾って頂くために心を込めて描かれました。沢山の人が心暖かくなりますね。



作品名:『愛がいっぱい』(絵てがみ)
 作者: 宮部麻里
 お庭のチューリップが沢山並んで華やかな様子が描けました。絵もご本人も愛がいっぱいです。



作品名:『雛あられ』(絵てがみ)
 作者: 三瀬千鶴
 手作り雛あられを見ながら丁寧に可愛らしい色合いに仕上げました。いつも季節のモチーフを観察しながら熱心に制作しています。

きさいやくん 5

斗酒百篇

オサワヒス



子どもの頃、「西江寺のえんま祭り」で恐ろしい地獄極楽
絵図を観た後の何日かは、「絶対に良い子になろう！」と
思ったものです(笑)

作者プロフィール

本名/城内 章 1957年 宇和島生まれ 愛知県在住
宇和島南高等学校卒 職業/建設業
趣味/漫画イラスト作成
著書に「のらとおばあちゃんの虹」



かみこころ

神心 純米大吟醸 しぼりたて

720ml 1,760円 1800ml 3,520円 (価格は税込)

※写真は1800ml

嘉美心酒造 岡山県浅口市寄島町

初春を迎え、清らかな気持ちでとくとくとく

ゆったりと一献、その御酒は

『神心(かみこころ) 純米大吟醸 しぼりたて』

立ち上がるフルーティな香り。やっぱり新酒の搾りたては格別。

広がる旨みが心地いい。キレも良いのでスイスイいける。

嘉美心酒造は旨口の酒にこだわる岡山県浅口市の酒蔵です。

創業時、酒名に「神心」を考えたが「神」の字をそのまま使う

ことは恐れ多いと命名は「嘉美心」にされたと言われています。

創業100年を迎えた2014年、新たな歴史の創造にむけて今こ

そとの気構えで新ブランドとして「神心」が立ち上げられました。

身も心も清めて醸される『神心』は気持ち新たに作る節目にお

勧めの御酒です。『神心』は定番酒の2アイテムとこの「しぼり

たて大吟醸」などの季節限定酒4アイテムを発売されています

ので、四季折々のお酒としても楽しんで頂けます。

たかむら酒の店

宇和島市神田川原 90 ☎ 0895-22-0624



<http://taka-sake.o.oo7.jp/>



※斗酒百篇(としゅひゃっぺん)とは たくさん酒を飲みながら、たく
さんの詩を作ること。 古代中国の唐の時代、数多くの詩を作った李白の
ことを杜甫が『飲中八仙歌』の中で褒め称えた言葉。 題字/矢間大蔵

おかげさまで **100**周年
うわしん

宇和島信用金庫

創立100周年 記念定期預金

〈募集期間〉

2022年4月1日～2023年3月31日

店頭表示金利の**25倍**

〈金利〉

0.05%

【取扱店/全店】

販売対象 個人・法人のお客様

募集金額 100億円

(募集金額に達し次第終了となります)

預入期間 1年

その他

一口座10万円～1,000万円以内
(お一人様1,000万円以内)

「つなぐ」は、こちらでどうぞ。

- 宇和島市役所ロビー ● 津島支所 ● 吉田支所 ● 三間支所 ● 中央図書館 ● 吉田図書館 ● 中央図書館津島分館 ● 生涯学習センター
- パフィオうわじま ● 宇和島市立病院ロビー ● 市立伊達博物館 ● 宇和島市立歴史資料館 ● きさいや広場 ● 道の駅みま ● シロシタ
- 畦地梅太郎記念美術館 ● 宇和島商工会議所 ● 盛運汽船 ● かどや(駅前本店・弁天町店・味奈味) ● ハイウェイレストラン宇和島 ● 和日輔
- 南楽園 ● 福 DON ● 岩崎書店 ● 木屋旅館 ● はまゆう薬局 ● パール薬局 ● ひまわり薬局 ● 小野商店(津島) ● 安藤コーヒー
- べにばら画廊 ● アトリエばれっと ● あすも(津島) ● JR宇和島駅 ● JR松山駅 ● 香川・愛媛 せとうち旬彩館(東京)
- 宇和島信用金庫各支店 その他 ※宇和島市の「宇和島クラブ」に協賛業者として登録しています。

「つなぐ」の発行は、新春号(1月)、春号(4月)、夏号(7月)、秋号(10月)です。



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —